

平成 30 年度 第 5 回 御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 会議録

日 時： 平成 31 年 2 月 27 日(水)

13:00 ～ 17:00

場 所： 御殿場市役所 東館 2 階 201-203 会議室

1 出席者

〔御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 委員〕※敬称略

渡邊 恵子、小高 由佳、高村 典子、山本 裕一、川口 勇雄、小林 類志、小宮山 なほみ、細谷 洋一郎、勝又 文弘 計 9 名

〔御殿場市市民協働型まちづくりアドバイザー〕※敬称略

牛山 久仁彦（明治大学 政治経済学部教授）

〔事務局(市民協働課)〕

田代課長、勝又統括、小長井

2 事業報告会〔13:00～15:00〕

〔内容〕

平成 30 年度御殿場市市民協働型まちづくり事業補助金の実績報告のため、各団体・担当課のプレゼンテーション、質疑応答等を実施。「御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会」の委員 9 名を評価者として、本年度実施された市民提案事業 4 事業(新規 1 事業、継続 3 事業)の評価を行った。

【市民提案事業】

- (1) 事業名： 防災都市御殿場づくり体験の日〔3 年目〕
団体名： 防災都市御殿場づくり体験の日実行委員会
担当課： 危機管理課

〔質疑応答〕

(委員) 冊子は内容を説明しながら配布したのか、それとも単に配布しただけか。

(団体) 冊子はまだ配布していない。中学生が防災面で活躍してくれているので、小学校 6 年生に向けて配布し、家庭などで見ていただくことを考えている。

(委員) 3 年間お疲れさまでした。毎回参加させていただいており、回を重ねるごとに内容が充実していくのがよく分かった。行政も今後拡大していくとのことで、大変期待している。冊子は、身近なものでも工夫して防災に役立てることができることなどを含めるとより良くなるのでは。

- (2) 事業名： 御殿場フィルムコミッション支援事業〔2 年目〕
団体名： NPO 御殿場フィルムネットワーク
担当課： 魅力発信課

〔質疑応答〕

（委員） 3 年間お疲れさまでした。活動を色々な場面で目にする。毎年度報告をいただくたびに、本当に頑張って取り組んでいることが伝わってくる。市の担当課からも、今後も引き続き協力・連携して取り組んでいきたい旨の説明があったので、是非、継続して取組んで欲しい。

- （3） 事業名： 親と子の発達支援プロジェクト〔2 年目〕
団体名： 道しるべの会
担当課： 子育て支援課(子ども家庭センター)

〔質疑応答〕

（委員） 体育のプログラムについて、発達支援が必要な小学生向けのプログラムは、どういうことをやるのか。

（団体） 先生は、普段から小学校 1 年生から 3 年生のクラスを開校している。今回、発達支援が必要な子ども向けの教室ということで、昨年度の実績も踏まえて検討した。過去に市が主催する小学校 1～6 年生向けの教室に自分の子どもが参加したことがあったが、ちゃんとセオリーにのっとったものとなっていたため、そのままの形で先生に任せる形で実施した。内容は先生が普段行っている教室と変わりはないが、少人数の対応としたり、「何をやっても大丈夫」とする場の空気をつくったりするなど、工夫して対応した。

- （4） 事業名： ハロウィン フェスティバル in GOTEMBA〔新規(1 年目)〕
団体名： 一般社団法人 御殿場青年会議所
担当課： 観光交流課・商工振興課

〔質疑応答〕

（委員） 参加させていただいたが、少し全体の輪郭がぼやけているイベントだったと感じた。子ども達も楽しんではいたが、食べ物の屋台が少ないなど、もう少し、という部分はあった。夜間は参加者も多かったとのことだが、問題もあるということなので、工夫して対応してほしい。

【講評(感想):御殿場市市民協働型まちづくりアドバイザー 牛山 久仁彦 教授】

本日 4 つの団体、担当課から話をしてもらった。それぞれこの 1 年間の活動の中で成果を上げられ、それを更に発展させていこうという意気込みを見させてもらったと思う。

他の自治体でも同様に活動の評価などをさせてもらっているが、行政の担当課も出てきて説明や意見等を述べてもらったことが印象に残った。日常の暮らしの中で、市民から見ると行政との間に壁を感じる部分もあると思うが、そういった壁が少しでも取り払われ、市民と行政が相互に信頼できる関係を作っていくことができることが、協働の大きな波及効果・収穫だと思う。

こういった個別の活動が、地域の活性化や多様な連携を生み出すといった効果も期待できると思うので、協働の事業の進展、新たなネットワークの構築などに繋がってきていると考えている。

それぞれの団体・担当課で課題なども挙げられているが、より多くの市民に参加してもらうには情報発信の仕方の工夫などが重要で、これは行政でも困難に感じている、企業などでも苦労している部分だと思う。今後も市民と行政の連携、民間の知恵を生かす形で広げていくことが大事だと思う。

もともと地域社会は住民が作ってきたもので、その結果として自治体行政が生まれてきた過去の歴史がある中で、自分たちの地域社会の事を行政だけに任せてしまうのではなく、自分たちも考え、頑張っていこうという形になってきた背景に、人口減少や少子高齢化、激甚災害など、非常に厳しい社会経済環境があるのだと思う。

今の政府の下でも、経済学者を中心とした「自治体戦略 2040 構想研究会」が報告書を出しており、現在、地方制度調査会において具体的な制度化の検討を行っているが、今後、自治体を取り巻く環境が一層厳しくなる中で、「行政の職員が半数になっても現在のサービスが維持される体制をつくる、そのために AI やロボットなどを活用する」とされているが、それだけでなく、「公共私のプラットフォームをつくる役割(公共私のプラットフォームビルダー)」が行政に求められるとしている。これは、行政が何もなくなってしまうということではあってはならないと私は考えているが、少なくとも公共私のプラットフォームを柱に今後の自治体戦略を考えていかなければならず、この「協働」という取り組みが視野に入ってくるのだと思う。その中で行政がどのような役割を果たすかについては、様々な議論があると思うが、市民の知恵、民間の活力がなくては、将来に向かって地域社会が持たないという問題意識を国としても持っているのだと思う。

そういった状況を踏まえ、御殿場市として今後どのような地域社会をつくっていくのかを考えたときに、今日報告をいただいたような団体と行政との協働・連携の取り組みがますます重要になっていくと思うので、これらの活動をどうすればより良いものになっていくのかという視点で、協働の取り組みへの活性化に取り組んでももらえればと思う。

3 行政提案事業に係る補助金返還の経緯説明・確認 [15:10~15:30]

〔内容〕

本年度、行政提案事業として採択されていた「ご縁をむすび隊プロジェクト」について、事業計画が採択時と大幅に変更されていたが、その報告がなく事業が実施されていたことを受けて、調整の結果、補助金の返還を求めるに至った。その経緯と変更の理由について、担当課である魅力発信課から説明を受けた。

(委員) 来年度からはこの事業はどのように進めていく考えか。

(担当課) 市民協働型まちづくり事業補助金の申請の期限が3月末となっている。団体と協議し、事業提案ができるかどうかも含めて検討する。

(委員) 自分自身がUターン組なので、移住・定住に関して興味があるのだが、今回の変更後の事業計画は、移住に関係ないことなのではないかと思う。都市部に行ってしまった、地元の財産である若者を、地元に戻すことが移住・定住で行うことだと思うので、地元にいる方の結婚を促すことは違うのではないか。もし次年度も引き続き事業を行うということであれば、是非、外に向けたものにしてほしい。

- (牛山教授) 今年度事業の予算はどうやって確保するのか。
- (担当課) 魅力発信課の予算をやりくりして捻出するように対応した。
- (牛山教授) 他自治体の状況などを見ると、こういった事業は補助金等がなくなってしまうとつぶれてしまうものが多く、次のステップの対応に苦慮している。形としては所管課で先取りして、市の予算で進める形になるが、やはり厳しいのか。
- (担当課) 予算的には厳しい。本来としては、移住・定住施策は様々な方法がある中で、婚活事業は人口を増やす施策の一環として協働で実施したもの。このようなアプローチも重要だと考えており、予算がなくなったから終わり、とはしたくないと考、えているため「予算がなくてもできることは何か」という視点で議論していきたいと考えている。
- (牛山教授) 団体から提案事業を変更してしまった事に対する反省はあるか。担当課だけではなく、団体の側も責任を持たないといけないと思う。
- (担当課) 今回の事業が「行政提案事業」であり、本来は行政が行うべき部分ということもあり、進言できなかったことについては担当課として反省している。協議の中でその点については振り返っていききたいと思う。
- (委員) FM での放送を何度かやられたと思うが、これで終了か？
- (担当課) 本事業のものについては、4 回で終了。もともと FM ごてんばで実施していた番組については、FM 自身の婚活への取り組みとして継続していくスタンスは変わらないと思う。
- (委員) 例えば、小山町のように、団体と組まなくても、市が主導して総合的な移住・定住寿司品のための施策を行っていくこともできるのでは。
- (委員) 平日の昼間に放送したとしても、効果が薄いのでは？
- (担当課) 時間は重要だと思う。こういった放送以外にも、FM ごてんばなどが主導してイベントを開催するなどしている。
- (委員) 「魅力発信課が行う婚活事業」という視点が少ないように感じた。また、本来はこの場に団体の方も来て説明してほしかった。行政提案事業とはいえ、行政に全て責任を持たせるのではなく、市民もちゃんと責任を負うべき。
- (牛山教授) 行政提案事業は難しいと思う。行政側の意向や、協議の中で事業内容が変わっていくこともあると思うが、今回は市民と行政のどちらの意向が強く働いたのか。
- (担当課) 団体側の意向が強かったと思う。
- (委員) せっかく行政提案事業を実施いただいてよかったとは思いますが、どうしても市民活動団体に行政が遠慮してしまっ、て強く言えない部分も大いにあると思う。是非どのようにすれば上手く行くのか、担当課だけでなく協議会としても考えていきたい。

4 選考会 [15:30 ~17:00]

〔内容〕

事業報告会でのプレゼンテーション及び質疑応答の状況、報告書の内容、採点結果(順位付)、委員からのコメント等を踏まえ、各事業の実施内容及び実績について協議を行った。

※市民提案事業 4 事業だけでなく、はじめの一步事業 1 事業についても協議

【市民提案事業】

- (1) 事業名： 防災都市御殿場づくり体験の日〔3 年目〕
団体名： 防災都市御殿場づくり体験の日実行委員会
担当課： 危機管理課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・子ども会、親子での参加など地域ぐるみの活動は今後続けていけると良いと思います。展示棟も工夫されていてわかりやすかった。
- ・防災については、継続的な取り組みが必要、なため今後の活動に期待します。
- ・3 年間で今後継続可能な仕組みづくりができたことが評価できる。今後、広がりをもって取り組んでいってくれたらよいと思います。
- ・今後も頑張って続けてほしいです。
- ・事業として素晴らしいと思うが、効果が分かり難い。人数が少ないのか多いのか。体験があると理解しやすいと事業の狙いを感じた。
- ・次年度からも担当課に予算を取ってもらって防災啓発活動を続けてほしい。
- ・防災意識向上のため、これからも継続していただきたい。
- ・冊子の活用法に更に工夫があるといい。
- ・市内各所でも開催され、毎年継続されると良いと思います。
- ・年々充実していった事業でした。今後も継続して事業を実施していただきたい。
- ・災害時に避難拠点となる施設が自ら中心となって事業を行うことに意義があると思います。

〔協議内容〕

特に委員から追加の意見・コメントなし

- (2) 事業名： 御殿場フィルムコミッション支援事業〔2 年目〕
団体名： NPO 御殿場フィルムネットワーク
担当課： 魅力発信課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・昨年に比べ、メールでの発信、新聞の告知など、良く目立ち、市民の関心も高かったと思います。他地区の参加者が少なく見えたのが残念。
- ・活動維持のため、メール配信システム使用料等について、自主財源で対応できるよう収入源を検討してほしい。

- ・素晴らしい成果を上げていると思う。魅力発信課の頑張りも伝わってきています。今後ますます盛り上げてほしいと思います。
- ・市の発展には効果があったのか？求めている人の動き、対応等の活動・取り組みはすばらしい。
- ・非営利でやっているのがもったいない素晴らしい事業だと思います。
- ・自主財源の確保をして、御殿場の PR をお願いしたい。
- ・行政との協働が機能していると思いますので頑張ってください。
- ・民間と行政の役割分担が、しっかり理解され分けられている。3 年目以降の活動が継続できるように基盤づくりをしてほしい。

〔協議内容〕

- （委員） 映画まつりもあれだけ有名な監督が来ているにもかかわらず、あまり盛り上がりなかった。もっと地元が盛り上げていく必要があると感じた。御殿場が映画のまちだということを、地元の方があまり知らないのもっと情報発信していくべきだと思う。黒澤明監督の映画の「聖地」としてもっと魅力発信できるはずなのに、何からやってよいのか分からないのでは？フィルムコミッションへの支援だけではなく、まちづくりとしての御殿場のアピールができていないと感じた。
- （委員） 撮影など、何度か街中で目にする機会があったが、「今日ここでやる」と分かっていると面白いのでは。

- （3） 事業名： 親と子の発達支援プロジェクト〔2 年目〕
 団体名： 道しるべの会
 担当課： 子育て支援課(子ども家庭センター)

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・対象者が子ども～お年寄りまで広がってきたことが素晴らしい。受講生参加型の講座もあり、今後も続けてほしいと思います。
- ・参加者の多寡については評価が難しいが、より多くの親子が参加しやすいイベント等を今後も検討してほしい。
- ・この手の団体はなかなか協働(行政と)する団体が少ない中で、市民目線のまま行政と関わり、行政側もそれをよく理解しているところに意義があると思う。
- ・プログラミング以外のイベントに繋げることができてとてもよかったと思う。
- ・受け皿が小さいと感じる。もっと参加したい人がいるのでは？支出を考えるとずっと体験できる人が増えた方がよい。行政の協力で解決できないか？
- ・行政側のしがらみを解決する必要を感じました。協働はそのためにも必要な事業だと思います。
- ・父親の参加が多かったことは成果と思われます。
- ・行政の協働の意義があまり感じられなかった。行っている事業はいいことなのだが、こうした団体が活動できる環境を行政が整えることができるといい。
- ・行政との信頼関係が構築されていて安心しました。

- ・発達支援を必要としている人に必要な支援ができていると思った。行政とは違う目線で支援できて良いと思う。頑張っていたきたい。
- ・有益な事業なので、更に多くの人が参加できればと思いました。

〔協議内容〕

特に委員から追加の意見・コメントなし

(4) 事業名： ハロウィン フェスティバル in GOTEMBA〔新規(1年目)〕

団体名： 一般社団法人 御殿場青年会議所

担当課： 観光交流課・商工振興課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・一過性のイベントにならないような、内容の拡充を検討してほしい。
- ・イベント前の告知や告知内容の不明瞭さに不安しかなかったが、「結果オーライ」でホッとしました。JC はイベント関係なくもっと行政と連携すべき。
- ・今回の反省をしっかりと生かし、次も頑張してほしい。
- ・まちへの影響としては一番大きかったのでは？継続していくことで更なる効果を出せる活動だと感じた。
- ・行政側の努力があまり見えませんでした。もう少しシンプルなイベントにしても良いと思います。
- ・実行委員会で事業内容が協議されていない様に思います。
- ・行政担当との協力をもっと充実させ来年に繋げてください。
- ・協働によるメリットを十分に発揮できていると思った。イベント告知や内容の更なる発展を望みます。
- ・夜の部など今後の広がり期待します。

〔協議内容〕

(委員) ポスターやチラシが、何をやるのかよく分からない内容だった。

(委員) 担当の方に情報を確認し、やっと内容が分かって情報発信できた。行政の担当課の方も、団体だけで作ってしまい、協力のしようがなかったとのこと。イベントに参加した方たちが上手く盛り上げてくれて、結果オーライとなった印象。団体として頑張っていたとは思いますが、「協働」は上手く行かなかったのだと思う。

(委員) 資料を見ると、リーダー(委員長)が全てを企画して、他の人に伝えているだけの印象を受けた。

(委員) 事務局に意見だが、添付する資料はもっと選別して、必要なもののみ付けてほしい。量が多すぎて見切れない。

(事務局) 今後注意して、調整して対応する。

【はじめの一步事業】

- (1) 事業名： 在来作物の伝承事業
団体名： 「みくりや」農と食の研究会
担当課： 農政課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・在来作物は地域性がある食物です。ぜひ守って伝えてもらいたいです。
- ・行政等と連携し、今回の商品開発を広めるなど、活動の発展を期待します。
- ・とても期待している事業です。ただ、農家の方ですから、もっと行政が関わって農を基盤としたまちづくりを推進してほしい。JAとも協働を。
- ・手軽にできる料理をご当地グルメとして発信してもらいたいです。
- ・今後も事業を継続してくださることを願います。
- ・在来作物の栽培、加工については、目的を達成できたと思います。今後の発展について考えていただけたらと思います。
- ・継続することで更なる効果が期待できると思うので、PR等積極的に努めていただきたいと思います。

〔協議内容〕

特に委員から追加の意見・コメントなし